

CS たより

風の子 太陽の子



～ともに未来を創る～ 令和7年12月19日

相生小学校コミュニティ・スクール (CS) 第3号

CSディレクター 伊藤龍彦

第3回 学校運営協議会が開催されました

11月12日(水)に、相生小学校学校運営協議会を開催しました。

第3回となる学校運営協議会では、前回の熟議テーマをさらに絞り込んだ内容での熟議となりました。子供たちの教育環境をより豊かにするため、学校運営協議委員の方々のお知恵やお力添えを借りたいという思いで、具体的な課題を以下のように絞り込み、熟議がされました。

多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりの具対策について

～「学校の現状」を知っていただき、

「支援の方法や関わり方」について共に考える～

熟議課題テーマ

《児童の安全な生活のために》

- ① 登下校時の安全確保
- ② 始業時前の時間における子供たちの安全な居場所の確保
- ③ 休み時間(特に昼休み)における質の高い見守りと指導

《児童の充実した学習のために》

- ④ 授業中の個に応じたきめ細やかな学習支援
- ⑤ 子供の主体的で意味のある家庭学習の実現と質の向上

【意見抜粋】

- 登下校については、地域が一番手伝いやすい。しかし、新規で参加する人の確保が、課題となっている。そこで、地域の方々へのボランティア勧誘のため、各町内の自治会に、「風の子・太陽の子応援団のおたより」を配布したり、「子ども見守り用のたすき」の申込用紙を学校で準備して回覧したりして活動に参加してもらうのはどうか。
- 校内にCSルームを作ることはできないか。そうすることで、休憩・待機・コミュニティの場となり、活動時間帯以外にもボランティアが在校することで、急な助っ人も可能になる。地域のボランティアの方が足を運びやすい学校づくりも必要である。
- 九九を聞くボランティアなど、学習に関するボランティアがあるとよいのではないか。実施時期を集中することができれば、CSボランティアを活用できる。
- 小、中の学習内容のギャップがあり、勉強嫌い、苦手が増え、二極化してきている。小学校で、学習習慣や学習の基礎・基本、家庭学習の学び方などを身につける必要がある。
- 学校の電話対応が人手不足で大変と聞く。電話対応時間を限定してはどうか。

相生小学校運営協議会の会議は、傍聴が、可能です。関心のある方は、事前に学校まで御連絡をいただければ、どなたでも傍聴ができます。



温かく
かかわる力



自分を
高める力



あきらめずに
挑戦する力



夢をもち
つなげる力



浜松市立相生小学校

キャリア教育を

推進しています。